

令和7年度 主な受賞者の紹介

全国優良経営体表彰

「全国担い手育成総合支援協議会会長賞」
上越市 株式会社花の米



就業環境の改善と女性活躍が経営発展の原動力となっている点が高く評価されました。

北陸農政局豊かなむらづくり全国表彰

「北陸農政局長賞」
上越市大島区 農事組合法人菖蒲生産組合



地域のシンボル「飯田邸」を核とした、様々な地域づくりの活動が高く評価されました。

※敬称略

表彰名	受賞名(部門)	受賞者名	市町村
新潟県優良農業経営体等表彰事業	知事賞(優良認定農業者の部)	株式会社 花の米	上越市
新潟県施設園芸立毛品評会	新潟県農業会議会長賞(トマト)	久保田 喜隆	上越市
	新潟中央青果社長賞(きゅうり)	堀口 典幹	上越市
新潟県子牛共進会	優秀賞1席(去勢の部)	水澤 洸大	上越市安塚区
全国青年農業者会議	農林水産大臣賞(意見発表)	上越地域農業者グループ 「ひかり」古岩 樹	上越市
北陸ブロック農業青年会議	最優秀賞(意見発表)		
青年農業者意見発表会	最優秀賞		

新認定者紹介 —なりわいの匠—

- 「上越市柿崎区のキク・米づくり」 上野 勇人さん(上越市柿崎区)
- 「斐太地区の米づくり」 阿部 剛さん(妙高市)

★令和8年度ニュー農業塾・園芸参入塾の塾生を募集します

普及指導センターでは、関係機関及び農業者と連携し、新規就農者等の栽培技術の習得や仲間づくりのための講座を開催します。令和8年度は以下の2コースを開催しますので、興味のある方はお問い合わせください。

- 【ニュー農業塾】 〇水稻コース(作物担当 TEL 025-526-9622) 【園芸参入塾】 〇えだまめコース(野菜担当 TEL 025-526-9406)

★若手女性農業者グループ「Fun farming上越」新規会員募集中!

農家レストラン等への視察研修やコミュニケーション研修会の実施など、20~50代の女性農業者がゆるく楽しく活動しています。興味・関心のある方は、普及指導センターまで御連絡ください。
(お問い合わせ先: 担い手・経営支援グループ TEL 025-526-9407)

★上越地域米メールマガジン登録者募集中!

普及指導センターでは、管内の農業者へ水稻栽培に関わる情報を迅速にお知らせするために、電子メールにより情報を配信するサービスを行っています。詳細はこちらのページを御覧ください。



発行: 上越地域農業振興協議会
事務局: 上越地域振興局 農林振興部
〒943-8551 上越市本城町5-6
TEL 025(526)9407 FAX 025(526)4080
HP <https://www.pref.niigata.lg.jp/site/jouetu-fukyusennta/>

上越東農林事務所
〒942-0411 上越市安塚区安塚720-1
TEL 025(592)3847 FAX 025(592)3591
HP https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/jouetsu_norin/jhn-top.html

上越地域農業を考える集いを開催



【上越地域農業を考える集いの様子】

令和7年11月に幅広い世代の担い手農業者が互いの活動を知り、交流を深めることを目的に「上越地域農業を考える集い」を開催しました。

当日は、指導農業者、女性農業者グループ、青年農業者、若手農業者の皆さんが集まり、各団体による活動紹介が行われ、経営の工夫や人材育成、地域貢献の取組などが発表されました。続く交流会では、所属を超えたグループトークやゲーム形式の交流を通じて、参加者同士が積極的に意見交換を行い、会場は大いに盛り上がりました。

参加者からは、「他の農業者の取組を知る良い機会になった」「新たなつながりができた」といった声がかかれ、有意義な交流の場となりました。

上越地域農業者グループ「ひかり」(4Hクラブ) 古岩 樹さん 全国青年農業者会議 農林水産大臣賞を受賞!

上越地域の若手農業者で構成された、上越地域農業者グループ「ひかり」(4Hクラブ)の活動を、普及指導センターでは支援しています。

令和8年3月に、全国の4Hクラブが参加する「第64回全国青年農業者会議」が開催されました。この大会で、北陸ブロック代表として「ひかり」の古岩 樹さんが「中山間農地の後継者として」と題して発表し、農林水産大臣賞(1位)を受賞しました。

人と自然の境界を守れる農業者兼狩猟者になりたいという思いに加え、ドローンやICTを活用した水稻栽培や獣害対策の省力化・効率化の取組について紹介しました。今回の農林水産大臣賞は、上越地域として平成25年以来12年ぶりの快挙です。

なお、上越地域農業者グループ「ひかり」では、新規会員を募集しています。興味・関心のある方は、普及指導センターまで御連絡ください。



【最優秀賞を受賞した古岩樹さん(写真右から4人目)】

普及指導センターの重点活動の取組を紹介します

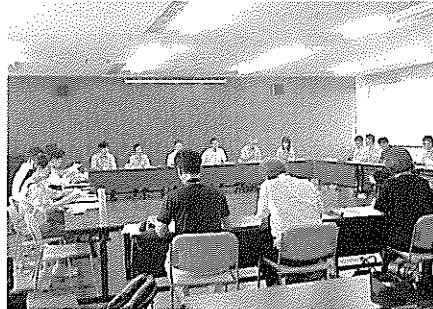
○ 高温・渇水対策に積極的に取り組みました！

(1) 今年度の猛暑の状況について

6月下旬の梅雨明けから8月上旬まで記録的な高温・少雨が続き、約40日間ほとんど降雨がありませんでした。

水田では水の確保が困難となり、主な用水では7月10日頃から番水が開始されました。しかし、用水の下流域や流量の少ない河川域、山間地の天水田地域では7月中旬から渇水被害が発生しはじめ、8月上旬にまとまった降雨があるまで被害が拡大しました。

園芸品目においても、ハウス栽培では主に高温障害、露地栽培では主に水不足による被害が発生し、大幅な減収となりました。



【上越地域高温渇水対策連絡会議】

(2) 作物

ア 対策

関係機関・団体と上越地域高温渇水対策連絡会議を開催し、高温干ばつ対策として、水稲では①飽水管理の徹底、②生育診断に基づく積極的な穂肥施用、③浅水湛水による根腐れ防止、④積算気温や籾黄化率確認による適期収穫を指導しました。また、高温耐性極早生品種「新潟135号」の一般作付に向けた周知活動も行いました。大豆では、畝間または明きよかん水の実施や、暗きよ閉栓の指導を徹底しました。



【「新潟135号」展示ほでの説明会】

イ 成果

水稲では、番水等による最低限の水の確保や追加穂肥により栄養状態が維持されたほ場が多く、多くの生産者が高い1等級比率を確保し、コシヒカリで15kg/10a以上増収しました。

大豆では、一部のほ場でかん水による干ばつストレス軽減が図られた結果、平均単収も前年より約15kg/10a増収しました。

(3) 園芸

ア 対策

園芸作物では、高温・渇水の被害軽減のため、関係機関・団体と連携して、①積極的なかん水、②遮光・遮熱資材の活用、③耐暑性品種の利用といった対策を推進しました。

イ 成果

えだまめでは、地下かんがいシステムによる地下水を活用したかん水、ピーマンでは簡易かん水システムによる井戸水を活用したかん水により収量・品質の確保が図られました。

また、遮光資材の活用により、ハウスアスパラガスでは異常茎の減少、盆花のアスターでは切り花品質の維持につながりました。ブロッコリーでは耐暑性品種の栽培に取り組み収量が確保されました。



【地下かんがいシステムを利用したえだまめ栽培】

1 就農から定着まで一貫した支援による担い手の確保育成

新規就農者や農業法人で働く方々を対象に、交流会の開催や関係機関・団体と連携した訪問・相談活動を行い、継続的な経営や就業に向けた支援を行いました。

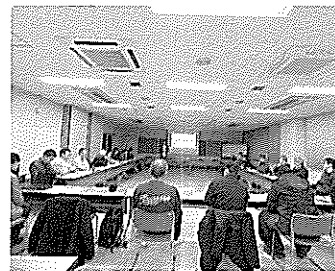
【担い手・経営支援グループ】



【新規就農者への巡回訪問】

2 農業法人等の経営体質強化

農業法人の持続的な発展を目指し、組織や就業環境の改善、省力・低コスト技術の導入を支援しました。併せて、専門家の助言や研修会を通じ、経営力の向上を後押ししました。



【板倉区「地域計画」農地利用調整会議】

3 地域農業を支える農業法人を中心とした力強い農業構造の確立支援

【上越南地域農業推進グループ(合併前上越・中郷・板倉・清里・名立)】

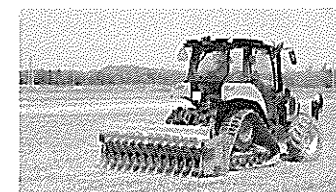
大規模法人等地域の担い手が管理する水田が分散しており、農作業の効率化に支障をきたしている状況の中、令和7年3月に上越市板倉区において、担い手への農地集約化と経営基盤強化を目的とした『板倉区「地域計画」農地利用調整会議』が設立され、集約化の仕組みが整備されました。

今年度は担い手の確保や『板倉区「地域計画」農地利用調整会議』の活動を支援してきたところ、農地の集約化に向けて気運が高まっています。

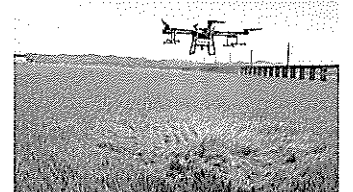
4 農業法人の課題解決に向けた支援

高齢化や後継者不足等により大規模経営体では農地集積が進み、水稲の春作業の長期化が課題となっています。このため、春作業の省力化やコスト低減に向け、V溝乾田直はの導入に向けた効果検証を行った結果、生産コストで4割程度、労働時間では5割程度の削減ができました。大規模経営体を中心に春作業の省力化技術として導入や拡大が見込まれており、安定生産に向けた支援を行っていきます。

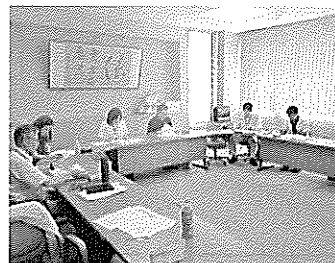
【上越北地域農業推進グループ(柿崎・大潟・頸城・吉川・三和)】



【V溝乾田直は】



【ドローンによる穂肥散布】



【関係機関による農業対策検討会】

5 生産組織等の経営体質強化支援

【妙高地域農業推進グループ(妙高市)】

普及指導センターは、関係機関・団体と妙高地域農業対策検討会を開催し、妙高市内の生産組織、農業法人の課題について情報を共有するとともに、法人等がより安定した経営を実践できるよう支援に取り組みしました。

担い手確保が課題である法人には、労働力調査への協力及び雇用に関する情報提供、作業に従事する人材の紹介等の支援を行いました。当該法人では、新たに雇用が生まれることで、経営改善につながることが期待されています。

6 中山間地域農業の維持・振興に関する将来プランの実践支援

【上越東農林事務所普及課(安塚・浦川原・大島・牧)】

上越市牧区の地域活性化に向けた将来プラン実践の活動エンジン「まきにいる」の活動支援を関係機関・団体と連携して行っています。地域の伝統的辛味調味料「ぴりっ子」再興プロジェクトや棚田ライトアップイベントでの出店、他地区の地域づくり組織との交流などの将来プラン実践活動への取組により、地域内での「まきにいる」の知名度が向上し、今後の活動への期待が高まっています。



【まきにいるメンバーによるぴりっ子加工の様子】